

単純性腎盂腎炎治療を受けられる

様へ

説明医師
外来看護師
病棟看護師

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	入院日	入院2日目～4日目	入院5日目	入院6～7日目	入院8日目	入院9日目～10日目	退院日	
目標	○重症感染症（敗血症）への移行が予防できる ○腎機能の悪化が予防できる ○腎盂腎炎に伴う症状が改善する 主な症状：悪寒・全身倦怠感・腰背部痛・膀胱刺激症状（排尿時痛・頻尿・残尿感）・消化器症状（吐き気・嘔吐）・混濁尿・血尿				○再発防止のために必要な行動を理解でき実践できる ・水分摂取量（1500ml/日） ・尿意がなくても排尿を試みる ・陰部の清潔を保つ			
検査	2日目5日目に血液検査・尿検査をおこないます 		必要時血液検査や尿検査、レントゲン検査などの追加検査をおこなう場合があります ※検査の予定がはいりましたら、前日にお知らせします   					
食事	朝食は自宅で  	  	  	  	  	  	 	
処置・観察	体温・脈拍・血圧を測定します  点滴の針を留置します  リストバンドを装着します (退院日まで装着します)				点滴の針を抜きます  ※炎症反応や発熱などの状況をみて 抗生剤点滴を持続するか内服薬 に切り替えるかを検討します		退院時にリストバンドを外します 	
注射・内服	常用薬とお薬手帳を持参し、看護師に渡してください 常用薬の服用を継続してください  持続点滴をおこないます  抗生剤の点滴を入院時と夜におこないます 	状態が安定するまで持続点滴をおこないます (点滴 500ml × 2 本投与します)  抗生剤の点滴を 10 時・22 時に投与します 	 	抗生剤の点滴を終了し、内服薬に切り替えていきます ※翌日の採血結果で最終決定します  	炎症反応は発熱などの状況をみて 抗生剤を内服に切り替える可能性があります ※医師の指示がありましたらお伝えします 			
行動	特に制限はありません ※発熱による血圧低下やふらつきなどの症状がある場合は安静にしてください (転倒する可能性があります)  	シャワー浴出来ます ※発熱による血圧低下やふらつきがある場合は看護師が清拭します  						
説明	医師より説明があります 治療について  看護師より説明があります 入院生活について  薬剤師より説明があります 薬について 	医師の回診があります 	看護師より説明があります 水分摂取量について 	看護師より説明があります 腎盂腎炎について 症状について 排泄行動や清潔保持について 	看護師より説明があります 抗生剤について  薬剤師より説明があります 抗生剤内服について ※ただし、抗生剤の内服が始まる場合に説明します 		看護師より説明があります 退院後の生活上の注意点について 次回受診について 	

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。
* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。
* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

署名（ご本人・ご家族）

17-N10-1

2019.10.3版

京都第一赤十字病院